



学校教育目標	未来を切り拓く「生きる力」を身につけた「ときわっ子」の育成
目指す児童像	かしこく やさしく たくましく

動けばつながる つながると喜びは2倍 悩みは半分



【ときフェス2023】

11月19日（日）に、ときフェス2023が開催されました。参加した子供たちの嬉しそうな顔が、今でも思い出されます。企画・運営に関わって下さった全ての皆様にお礼を申し上げます。本当に、ありがとうございます。

11月28日（火）の授業参観・懇談会の折には、PTA文化部研修会兼学校保健委員会「見直そう 食と健康」が行われました。2名のファシリテーターの先生をお迎えして、異学年の保護者同士でグループを作って、研修をしました。

フェスや研修会の内容が良かったことはもちろんですが、私がいいなと思ったのは、保護者同士でつながるとても良い機会になったということです。

核家族化が進み、一緒に住んでいる家族の数は年々減ってきています。加えて、ここ数年は、コロナ禍の影響で、人との触れ合いが激減してしまいました。

そもそも、子育てに絶対的な法則はありません。状況を見ながら臨機応変に対応していく力が求められます。とても大変ですが、だからこそ喜びも大きいのです。

私は、悩みが出てきた時、積極的に他の人と話をするようにしています。すばらしい答えがすぐに出てくることは少ないのですが、人と話をする中で、自分自身の頭の中が整理されたり、重かった心が軽くなったりします。この効果はとても大きいと思っています。

また、嬉しいことがあった時も、積極的に他の人と話をするようにしています。そうすることで、何度でも嬉しい思いをすることができるからです。

これが、表題に書いた「喜びは2倍 悩みは半分」の中身です。

ここまで、私の思いを書いてきましたが、問題なのは何もしなければ、なかなか人とはつながることができないということです。

そういう意味で、今回、保護者同士のつながりを作っていたいただいた、ときフェス2023の実行委員・協力員・地域の皆様、PTA文化部の皆様には心より感謝しています。これからも、保護者同士つながっていきましょう。



【PTA文化部研修会】

保護者の皆様、地域の皆様には、今年も本校の教育を進めるにあたり、たくさんのお力をお貸しいただきました。まことにありがとうございます。

早いもので、2023年も残りわずかな日数となりました。

どうぞ、良いお年をお迎えください。

かしこく やさしく たくましく

本校の、目指す児童像は、学校便りにも書いている通り、「かしこく やさしく たくましく」です。

この2学期の間も、この児童像に子供達を近づけるべく、様々な取り組みをしてきました。

その一端をご紹介します。

【かしこく】

本校では、算数の研究を進めています。研究テーマは、「たくましく学び続ける「ときわっ子」の育成」です。

たくましく学び続ける子供の姿としては、「ともに学び合い」「基礎基本を大切に」「わかるまで粘り強く努力する」子供としています。

特に、2学期は、たくさんの研究授業を行いました。10月24日には、西海市教育委員会の先生に来ていただき、3年生の授業を公開した後、研究の方向性について指導を受けました。3年生の子供達は、授業のなかで、それぞれの得意なことを生かしたグループ活動を進め、意欲的に学習ができていました。算数で研究したことを他の教科にも広げ、確かな学力の育成に努めています。

【やさしく】

12月7日には、人権擁護委員さんを迎えて、人権集会を開きました。集会の初めに、子供達に質問をしてみました。「運動・スポーツが好きな人」「音楽が好きな人」「算数の勉強が好きな人」「給食を食べるのが好きな人」「休み時間遊ぶのが好きな人」それぞれの質問に、それぞれの子供たちが手をあげていました。

考えてみるとあたりまえのことです。人によって、好きなことは違うからです。では、好きなことを全員揃える必要はあるのでしょうか。もちろんありません。何が言いたいのかというと、学級というのは、いろいろな思いをもった友達の集まりだということです。

ときわ台小学校の皆さんには、自分の思いを大切に、そして友達の思いも大切に、いい学級を創ってほしいという校長の思いを伝えました。

人権擁護委員さんからは、「ぼくは ぼくでよかった」という読み聞かせをしていただきました。これからも、自分や他の人を大切にする豊かな心の育成に努めます。

【たくましく】

マラソン大会を、12月14日に開催しました。これは、昨年度からの取り組みになります。

目的の1つ目は、たくましい体をつくることです。勉強にせよ、行事への取り組みにせよ、体力がなく、すぐに疲れる状態では充実した学校生活は送れません。また、校区が広がることで、歩いて学校に行くことがかなわない地区も出てきています。

目的の2つ目は、たくましい心をつくることです。マラソンをしていると必ずどこかで苦しくなります。苦しいからゆっくり走るのではなく、あきらめずに力いっぱい走り抜くことができれば素晴らしいと思います。それは、マラソン大会だけでなく、普段の生活でも、あきらめないとたくましいときわ台小学校の子供につながっていくと思います。大会当日は、最後まであきらめずに走る子供たちの姿を見ることができました。これからも、たくましい心身の育成に努めていきます。保護者の皆様、応援ありがとうございました。



【3年生算数研究授業】



【人権集会】



【マラソン大会】

